

公益社団法人 別府青年会議所 2018年度 理事長所信

公益社団法人 別府青年会議所 理事長 中島 雄一

【はじめに】

「失敗を恐れ挑戦しないことが、1番の失敗である。」この言葉は、私が青年会議所生活の中で最も学んだことです。地方創生が叫ばれる現在、我々のふるさと別府市も超高齢化社会、少子化問題、人口減少などの様々な大きな課題に直面しています。その全てが急務であり、先延ばしにできない課題です。だからこそ、本年度、我々別府青年会議所は地域社会の先頭に立ち、失敗を恐れず挑戦します。

私は、今から15年前の25歳の頃、伝統ある別府青年会議所に入会させて頂きました。入会当初は人前で話すことも出来ず、人と関わることも正直得意な方ではありませんでした。しかし、青年会議所生活15年間の中で、素晴らしい先輩方や仲間に出会い、時には厳しく、時には優しく支えて頂き、共に事業を立案し実行することで、少しずつ自己成長できたと確信しています。今年40歳となる最後の年に、私の人生を大きく変えてくれたこの別府青年会議所で、理事長としてメンバーの先頭に立ち、身を粉にして、別府のために、別府青年会議所のために、邁進していく所存です。

また、本年度は、別府青年会議所にとって1番急務な課題である会員拡大に真剣に取り組んでいかなければなりません。この5年間で、多くの先輩方が卒業され、およそ20名ものメンバーが減少してしまいました。「数こそ力なれ。」と、いう意識をメンバー各自が持ち、会員拡大を確実に行わなければ、別府青年会議所の活動の縮小はおろか、存続すら危うい状況となってしまいます。我々の運動をより多くの人に理解して頂けるように、しっかりと広報にも注力し、会員拡大を図ります。

メンバー一人ひとりがJAYCEEとしての責任と自覚を持ち、別府青年会議所としての誇りを胸に、メンバー全員が一丸となって、若者らしく失敗を恐れぬ覚悟を決め、前進する為に何事にも勇気を出し、1年間挑戦し続けます。

【規律あるJC構築】

ルールやマナーの厳守は、社会を構成する大人として、基本中の基本ではありますが、決して容易なことではありません。「挨拶をする」「時間を守る」「出欠の返信をする」など、青年経済人として守るべき行動を明確化し徹底することが、個人の資質向上、団体の組織力向上、また規律あるJCの基盤づくりに繋がると考えます。

【魅力あるまちづくり】

昨年は湯～園地で日本全国に話題になるほど、別府市は源泉数・湧出量共に、日本一を誇る全国でも有数の観光地であります。また山や海などの豊富な食材をはじめ、多くの観光施設も存在します。我々、別府市民が今一度、国際観光文化都市である別府の魅力を掘り下げ、理解し、発信することで、全国どこにもないオンリーワンのまちづくりに取り組んでいきます。

【こころを繋ぐ会員交流】

より良い事業を行うためには、個性の強いメンバーの意識が同じベクトルを向いていることが重要です。この5年間で多くのメンバーが卒業し、新しいメンバーを迎える中、まずはメンバー間の信頼関係・友情を育むために、メンバー同士が多くの時間を共有し、お互いが顔を見て直接交流していくことが大切です。

【次代を担う青少年育成】

青少年を取り巻く環境はインターネットを初めとする情報通信機器の普及やデジタル化・バーチャル化により、現実世界での自分自身の挑戦や努力といった人間が本来持つべき大切な部分の軽薄化に繋がっているように感じます。現実の世界を構成する人間として、失敗を恐れず様々なことに挑戦する素晴らしさ、努力する大切さに気付くことのできる青少年の育成に取り組めます。

【国際色豊かな地域づくり】

別府市には、およそ90カ国、3300人の留学生が滞在し、人口10万人に対しての留学生の割合が日本一であります。そんな国際色豊かな環境があるにも関わらず、活かし切れていないのが現状です。別府青年会議所も、毎年留学生と意見交換会などの交流会は行っているものの、その先の国際色豊かなまちづくり交流までは至っていません。この素晴らしい環境を最大限に生かし、留学生との交わりの中で国際温泉観光文化都市としての更なる可能性を追求・創造致します。

【姉妹JCとの発展的交流】

我々、別府青年会議所は、中華民国陽明山国際青年商會と大韓民国木浦青年会議所と姉妹締結をしています。先輩方が築き上げてきた友情に加え、積極的に市民を巻き込んだ発展的な交流事業へ進化させていきます。また、本年度は陽明山国際青年商會と姉妹締結40周年の調印式が執り行われます。40年の歴史を振り返ると共に、この先も続く友好的な関係を構築するために、共に模索していきます。

【会員の拡大】

我々の運動効果を最大限に発揮する上で、重要なことの 하나가、仲間を増やしていくことです。地域社会に対し、より多くの効果的な事業を展開するためには、メンバーの数が不可欠です。会員拡大が厳しい時代ですが、我々の存在意義をしっかりと示し、地域に必要とされる運動を展開し、広く発信することで、別府青年会議所をより多くの人に理解して頂き、会員拡大へと繋がります。

【最後に】

私が、15年間の青年会議所生活で学んだことは、失敗することこそ本当の意味があるということです。もちろん、しっかりとした準備を行い、物事を成功することは素晴らしいことです。しかし、最大限の努力をした結果の失敗は、成功以上に学ぶことができますし、自分自身を大きく成長させてくれると学んでまいりました。だからこそ、メンバーには、失敗を恐れず明るい豊かな社会のために、「自分が楽しまないと、人を楽しませることは出来ない。」ということ胸に秘め、人のため、地域のため、そして何よりも自分自身のために1年間全身全霊で挑戦し続けて欲しいと思います。また、私自身もこの思いを胸に1年間精進してまいります。